

	チェック項目	はい	いいえ	非該当	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓			
	② 職員の配置数は適切であるか	✓			
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	✓			
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	✓			
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓			平成26年度の第三者評価と毎年行なっている自己評価の結果を踏まえて、必要に応じて改善しています。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓			
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	✓			平成26年度に第三者評価を受審しました。指摘していただいた項目については改善するよう努力しました。
適切な支援の提供	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓			7月に2日間の内部研修を行いました。また、OJT、外部研修、東京都研修の受講機会を設けています。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			十分なアセスメントをもとに個別支援計画を作成しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓			WISC等の発達検査により傾向を把握し、職員間で周知しています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓			
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓			
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	✓			土曜日には午前中から終日個別指導枠を設けています。長期休暇には、必要のある子どもに対してはきめ細かな学習支援などを行っています。利用者ごとに課題があるため、一括した時期でくって支援を行っているわけではありません。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			状況と必要性を鑑みて、小集団、小グループ、個別など必要な支援を組み合わせています。また、利用者の状況や課題をみて、その都度支援態勢を考ええています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓			毎朝会議を行い、前日の出来事や、その日の確認事項を共有しています。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	✓			記録作成と同時に振り返り・共有を行っています。必要に応じて翌朝の会議でも再度共有します。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓			利用者の様子は記録し、必要に応じて保護者と連絡を取り合っています。また、利用者一人一人に合った関わりができるよう、職員間で話し合い対応方法などを検討しています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	✓			全員、半年に一回以上見直しています。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	✓			
	関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓		
㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		✓			
㉒ 医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				✓	対象児童がいません。
㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		✓			
㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		✓			
㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		✓			
㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			✓		大半の利用者が通常学級に在籍しているため、放課後等デイサービスでの交流は行っていません。
㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		✓			
保護者への説明責任等	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓			伝える必要がある場合は即日連絡を原則とし、電話、メールなど、保護者に負担の少ない方法で緊密に連絡を取り合って共通理解をすすめています。
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	✓			事業所内相談支援で日々保護者の悩みに向き合い、解決方法を助言するなどの保護者支援を行っています。
	㉚ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓			契約書と重要事項説明書に明記し、丁寧に説明しています。
	㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓			電話やメールでの相談には即時対応し、また希望があれば面談を設定して、助言と支援を行っています。
	㉜ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	✓			

非常時等の対応	③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓		今のところ苦情はありませんが、苦情があれば迅速適切な対応をとれるよう態勢を整えています。また、苦情を申し立ていただけるよう窓口も設置し、掲示物や説明書で案内しています。
	④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓		
	⑤	個人情報に十分注意しているか	✓		
	⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓		支援の場では、必要に応じて視覚情報と聴覚情報を組み合わせるようにしています。保護者に対しては、重要な事項は手紙・メール・口頭などで複数回お知らせし、情報の伝達漏れがないよう配慮しています。
	⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		✓	変化に弱い子どもが多いため、利用者主体で落ち着いた活動ができるよう配慮していることから、地域住民を招待するような行事は行っていません。
	⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	✓		東京都のルールに従い、各種マニュアルを整備しています。保護者に対しては、重要事項説明書に記載して説明済みです。
	⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓		年に2度の避難訓練を行っています。在籍利用者全員が参加できるよう、避難訓練週間を設けて1度の訓練につき5日間の予定を組んでいます。
	⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓		
	⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	✓		どのような場合に拘束を行うかを会議で話し合い職員間で共通認識を持ちました。現在、利用者の中に身体拘束を行うケースは考えられません。今後必要に応じて話し合い対応していきます。
	⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓		
⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓		常に事故などが発生しないように話し合い、気になることがあればその都度毎日の会議で共有しています。今のところヒヤリハットの事例は起きていませんが、あった場合には職員間で共有し、改善していきます。	